

調べものの部屋には、中高生が調べものをするのに役立つ本など約1万冊があります。その中から2か月ごとにテーマを決めて選んだ本を、ウェルカム展示として入口で紹介しています。

※このリストは、展示時点で担当者が選んだものであり、テーマに関する網羅的な資料リストではありません。

テーマ：**星**

いつの時代も夜空を美しく彩ってきた星。

星にまつわる本を紹介します。

▶リストの見方

No.	書名 (あれば巻号) 著者名(出版者, 出版年)【調べものの部屋請求記号】	【 】の中は、調べものの部屋のどこにあるかを示す請求記号 (日本十進分類法を使用) です。
-----	--	---

▶日本の名前

1	日本の星名事典 北尾浩一 著 (原書房, 2018) 【443】	星の位置を理解することは、適切な田植えの時期や釣りの時期を知ることであり、夜の時刻を知ることでもあり、生きる術として人々の生活と切っても切れないものでした。生活の中でいつしか呼ばれるようになった星々の名前が紹介されています。
---	-------------------------------------	--

▶神話に出てくる星

2	図解ギリシア神話 (歴史がおもしろいシリーズ!) 松村一男 監修 (西東社, 2011) 【164】	古代メソポタミアの人々が、夜空の星を見上げ、身近な動物やものになぞらえた星座は、ギリシア神話の神々と結びついてより馴染み深い話として伝えられてきました。(pp.212～243)。
---	---	---

▶星が導いたもの

3	吉村作治の古代エジプト文明：ビジュアル版 第1巻 (ピラミッドの誕生) 吉村作治, 岩出まゆみ 著 (汐文社, 2009) 【242】	古代エジプト人は、星や月の観察から、正確な暦をつくり、方位を割り出していました。ピラミッドが建てられたのは、紀元前2,650年頃ですが、その4つの面は正確に東西南北を指しています。
4	伊能忠敬 (徹底大研究日本の歴史人物シリーズ ; 6) 清水靖夫 監修 (ポプラ社, 2003) 【210.55】	正確な地図作りには、距離と方位に加え、緯度の観測が必要です。江戸時代に地図を作った伊能忠敬は、毎晩北極星の高度を観測し、その場所の緯度を測りました。

▶シンボルになった星

5	国旗と地図 (ピクチャーコミュニケーション) (フレーベル館, 2007) 【288.9】	国旗に描かれるしるしの中で一番多いのは「星」だそうです (p.38)。見開きごとに地域とそれに対応する旗が掲載されています。
6	日本の家紋大事典 森本勇矢 著, 日本家紋研究会 監修 (日本実業出版社, 2013) 【288.6】	家紋のはじまりは平安時代。自然現象や植物、動物、道具などがモチーフになっています。自然からデザインされた家紋の中では、星と月が多いそうです。

▶建物の中の星

7	イスラーム建築の見かた：聖なる意匠の歴史 深見奈緒子 著 (東京堂出版, 2003) 【522】	人物や動物を描くことが禁止されているイスラーム教の教会や礼拝所には、たくさんの星や植物などの模様がちりばめられています。
---	---	--

▶地球にある星

8	世界の砂図鑑 = SAND FROM AROUND THE WORLD : 写真でわかる特徴と分類 須藤定久 著 (誠文堂新光社, 2014) 【458】	浜辺にも星があります。沖縄などで見られる「星の砂」は有孔虫の殻からできています (p.146)。
---	--	--

▶作れる星・飾れる星

9	星と雪の装飾おりがみ：四角形、五角形、六角形の紙から折る 布施知子 著 (誠文堂新光社, 2014) 【754.9】	一枚の紙から作る折り方のほかに、何枚かの紙を使ってパーツを組み合わせる方法も掲載した折り紙図案集。
---	---	---

▶万葉の星

10	万葉集 (日本の古典をよむ ; 4) 小島憲之, 木下正俊, 東野治之 校訂・訳 (小学館, 2008) 【911.1-マン】	日本最古の歌集にも星は登場します。柿本人麻呂は天を詠んだ歌の中で、林の例えに星を用いました (p.177)。
----	--	--

過去の展示の資料リストは、当館HP上の「ウェルカム展示」に掲載しています。(http://www.kodomo.go.jp/use/room/teens/exh.html)